

講評

新聞で育む「未来を歩む力」



茨城県新聞教育研究会長
水戸市立内原中学校長
折本 正巳

第14回新聞感想文コンクールは、応募作品数2,517点で、どれも優れた作品ばかりでした。全体を通して、良かったことは、様々な内容の記事が取り上げられていたこと、身近な話題から世界全体の動向にまで視野が広がっていたこと、記事について調べたり意見交換したりして学習が深まっていたこと、今後の自分の生き方や社会の在り方を考えていたことなどです。

1〜3年生の部では、素直で瑞々しい感性で記事を捉え、自分なりの感想を持つことができていました。記事の写真から想像を膨らませたり、自分の体験を想起しながら考えたりしていました。記事をもとに家族等とのふれあいが生まれた様子も伝わりました。

4年生の部は、記事について多面的・多角的に考察しているものが多かったです。社会や国のあるべき姿を提案したり、自分の生き方を見つめたりしている作品から、新聞感想文が未来志向に繋がっていることを確認しました。

5年生の部は、近い将来社会人となる自覚が表れていました。世界の出来事に関心を示す、歴史的な事象と関連させながら記事を読む、主権者の立場から考

える等、これからの社会を担う人材として頼もしさを感じました。新聞感想文に挑戦することは、次のような学びをすることで、記事を読むことで、教科書だけでは捉えにくい社会の動きを知ることが出来ます。

AIの進化など、社会が大きく変化していくこれからの時代は、これまで以上に、情報を正しく理解し適切に判断する力、自分の思いを正確に伝える表現力、他者と協働して新しいもの創造する力が重要となります。

茨城県知事賞

小学校1〜3年生の部

ダイヤモンドのふじぎ



つくば市立竹園西小 2年 保田 怜

ぼくは、アメリカの女の子がこういって大ききダイヤモンドを見つけたことを見て、びっくりしました。こういってダイヤモンドはなかなか見つからないから。ぼくは、こういってあそぶのが大好きです。今までたくさんこういって行ったけれど、一どもダイヤモンドを見つけたことがありません。どうして、ぼくが行くこういって見つけれないのか、ふしぎに思っています。

中学生の部

赤ちゃんもお母さんも幸せに



県立古河中等教育学校 3年次 七五三掛 愛莉

自分に合うパートナーを見つけ、幸せに結婚し、幸せに産する。多くの人が願っている、きちんとしたライフプラン。しかしそんな「筋書き」にはかないのが妊娠、出産の行程です。

幸せくれる農家の方に



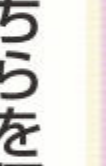
坂東市立長須小 5年 鈴木 蘭

茨城県の行方市では「行方のかんしょ」を多く生産しているそうです。私は、かんしょも大好きな自分で育ててみんなが笑顔になる幸せのさつまいもを作りたいと思いました。

販路拡大へ企業と連携 行方かんしょ

茨城の農水産物

どちらを優先するべき？



県立日立一高 1年 菅原 愛菜

「処理水放出」「憤りや諦め」。一番最初に私の目に飛び込んできた言葉です。最近良く耳にする「処理水放出」という言葉と「憤りや諦め」という決して明るい言葉ではない言葉に、私は心をなやませることが出来ません。

漁業者「約束は」

処理水あす放出 県内、憤りや諦め

相 松 本 野 田 須 藤 小松 平 矢 志	松 本 野 田 須 藤 小松 平 矢 志	賀 川 永 吉 川 柳 青 落 片	賀 川 永 吉 川 柳 青 落 片	賀 川 永 吉 川 柳 青 落 片	賀 川 永 吉 川 柳 青 落 片	【優秀学校賞】 水戸市立内原中、茨西市立開城西小、つくば市立高崎中、つくば市立竹園西小、坂東市立長須小	【優秀学校賞】 水戸市立内原中、茨西市立開城西小、つくば市立高崎中、つくば市立竹園西小、坂東市立長須小	【優秀学校賞】 水戸市立内原中、茨西市立開城西小、つくば市立高崎中、つくば市立竹園西小、坂東市立長須小	【優秀学校賞】 水戸市立内原中、茨西市立開城西小、つくば市立高崎中、つくば市立竹園西小、坂東市立長須小	主催 茨城新聞社 茨城新聞茨城会	後援 文部科学省 茨城県 茨城県教育委員会	協力 茨城県教育研究会 茨城県新聞教育研究会 茨城県学校長会 茨城県高等学校長協会 茨城県PTA連絡協議会 茨城県高等学校PTA連合会 茨城県私学協会
------------------------	----------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	--	--	--	--	------------------	-----------------------	---